

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年6月17日	
名古屋市長 様	
提出者	
住 所 名古屋市港区大江町9番地の1	
東レ株式会社名古屋事業場	
氏 名 事業場長 加藤 昌史	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 052-613-5108	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	東レ株式会社名古屋事業場
事業場の所在地	名古屋市港区大江町9番地の1
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	16：化学工業
② 事業の規模	2023年度製品出荷額： 673 億円
③ 従業員数	559名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	廃プラ→破碎・圧縮→RPF燃料 汚泥→焼却・熔融→路盤材 廃油→混合エマルジョン→燃料 廃酸→中和 ガラス・陶磁器くず→破碎・圧縮→埋立 廃アルカリ→エマルジョン→燃料 木くず→破碎・圧縮→燃料

(第2面)

産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙3のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	①汚泥：工程安定化による発生量増加の防止 ②廃油：生物処理による排出量削減 ③廃アルカリ：設備洗浄方法見直しによる発生量削減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり	
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	工程安定化による発生量増加の防止 有価物取引への転換		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ISO14001廃棄物管理規則により、種類毎に分別方法、留意事項を明記し基準書に従い分別保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 前述の取組みの継続実施

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	—t	—t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—t	—t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—t	—t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	—t	—t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—t	—t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—t	—t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋処分を行った産業廃棄物の量	—t	—t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋処分を行う産業廃棄物の量	—t	—t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	①廃プラ：RPF燃料への再資源化 ②汚泥：焼却殻の路盤材への再資源化 ③廃アルカリ：単純処分からエマルジョン燃料化による再資源化 ④ガラス・陶磁器くず：セメント原料への再資源化 ⑤木くず：燃料用チップへの再資源化		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 前述の取組みの継続実施 ・ 工程安定化による発生量増加の防止		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1

【前年度(令和5年度)実績】

	廃棄物の種類	廃プラスチック	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃酸	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず			
	名称(任意の名称を記入してください)	内袋、プラ屑	凝沈汚泥等	溶媒等	精製洗浄液	廃試薬	廃パレット	複合材等			
①	排出量(t)	475.2	1097.8	52.6	887.8	25.7	209.4	1.0			
②	自ら再生利用を行った量(t)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
⑤	自ら熱回収を行った量(t)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
⑦	自らの中間処理による減量(t)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
⑩	処理委託した全量(t)	475.2	1097.8	52.6	887.8	25.7	209.4	1.0			
⑪	優良認定処理業者への処理委託量(t)	475.0	1097.8	52.6	887.8	25.7	0.0	1.0			
⑫	再生利用業者への処理委託量(t)	352.2	966.0	12.6	858.5	4.7	209.4	1.0			
⑬	認定熱回収業者への処理委託量(t)	16.0	14.8	12.0	0.0	20.0	0.0	0.0			
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	107.0	117.0	28.0	0.0	1.0	0.0	0.0			

別紙2

【今年度(令和6年度)計画】

	廃棄物の種類	廃プラスチック	汚泥	廃油	廃アルカリ	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃酸	木くず	混合廃棄物		
	名称(任意の名称を記入してください)	内袋、プラ屑	凝沈汚泥等	溶媒等	精製洗浄液	複合材等	廃試薬	廃パレット	混合廃棄物		
①	排出量(t)	568.7	1561.9	53.2	1141.9	5.0	40.3	235.7	6.2		
②	自ら再生利用を行う量(t)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量(t)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑤	自ら熱回収を行う量(t)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑦	自らの中間処理による減量(t)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑩	処理委託する全量(t)	568.7	1561.9	53.2	1141.9	5.0	40.3	235.7	6.2		
⑪	優良認定処理業者への処理委託量(t)	568.7	1561.9	53.2	1141.3	5.0	40.3	235.7	6.2		
⑫	再生利用業者への処理委託量(t)	422.6	1409.8	0.1	1141.2	5.0	0.0	235.7	6.2		
⑬	認定熱回収業者への処理委託量(t)	16.9	8.3	17.1	0.0	0.0	40.3	0.0	0.0		
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	129.2	143.9	36.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0		

名古屋事業場産業廃棄物管理体制

